



平野 武志 議員

いっばん

問 定住化対策 「検討していない」は論外

答 第6次振興計画に反映する ——— 町長



「おためし暮らし」を紹介する 当別町のホームページ

策は経済効果
せん。移住対
とばになりま
は残念で、こ
い」というの
討していな
再質問 「検

質 問 過去数回にわたる定住化促進の質問に、町長答弁は全体を通した施策理論の展開ばかりが多いように感じています。具体的な提言にも、「財政上難しい、参考にしながら進めて行く」と、具体策も出てきていません。過去に提言した具体案のその後の協議結果と見解を伺います。

また、他市町村からの移住対策は、予算投入しても必ず町に跳ね返るもので、時期も新幹線開業、高規格道路開通前のいま取り組むべきだと考えますが、町長の見解を伺います。

大森町長 空き家対策として町に情報登録している土地は21筆、空き家という判断の建物は18軒です。「ちよつと暮らし」については、具体的な検討はしていません。「漁港等の利活用について」も、具体的な方向性は出ていません。

また、道営住宅の見直し計画が新聞報道されており、建設候補地の提供を行い建設実現に向け積極的に対応していきます。

義務教育教材費 保護者負担の軽減を

質 問 小中学校では、教材費の保護者負担が生じています。授業の質の向上や教育上、必要だと理解はしていますが、経済的負担になっているのも現実です。

また、スキー学習も、町の特性を活かした授業内容であり必要性は理解しますが、スキーセットを町で用意すべきだと考えますので、

今後、保護者の負担軽減に一層努めるよう学校に指示・指導を行います。教科に関わる資料であり公費支出が適当であるものは、次年度で予算措置したいと思えます。